

静岡理工科大生 卒業記念に植樹

自ら募金で用意

静岡理工科大(袋井市豊沢)の本年度卒業生12人が4日、同市豊沢の愛野公園で記念植樹を行った。学生生活を過ごした袋井の地に感謝を込め、ヤマボウシ



ヤマボウシを植える静岡理工科大の本年度卒業生たち
＝袋井市豊沢の愛野公園

ウシの木1本を植えた。

木は学生自ら募金を集めて用意した。それぞれスコップで木の根

元に丁寧に土をかぶせ、無事成長することを願った。

電気電子工学科4年の大沢智さん(21)は、松市北区は、毎年夏に袋井市で開かれる花火大会でボランティアを経験したことを思い出し、「社会人になっても全力で壁にぶつかっていききたい」と抱負を語った。

出身地の青森県で就職する物質生命科学科4年の玉田真子さん(23)は「袋井の4年間で多くの人と関わった。地元でも一期一会を大事にしたい」と話した。

同大は1991年に開学した。植樹は1期生から続く伝統行事。